

第1回青森空港有料道路経営改善検討委員会 議事要旨

日時：平成27年12月24日（木）13:30～15:00

場所：ラ・プラス青い森 4階「ル・クリスタル」

1. 委員会出席者

青森大学 経営学部経営学科	教授	井上 隆
ヤマト運輸(株)	青森主管支店長	大場 浩二
ホテルグランメール山海荘	若女将	杉澤 知恵
(株)青森入浴ケアサービス	代表取締役	田中 正子
(一財)青森地域社会研究所	主任研究員	長尾 匡道



2. 議事内容

- (1) 設置要綱確認及び委員長選出
- (2) 青森県有料道路について（事務局より資料1により説明）
- (3) 青森県の幹線道路の整備方針（事務局より資料2により説明）
- (4) 青森空港有料道路のあり方について（事務局より資料3により説明）

3. 審議内容

【意見・質問及び回答等】（質問・意見：各委員 回答・説明：事務局）

（質問）平成27年の交通量調査はいつ実施したのか。

（回答）平成27年の10月から11月にかけて、平日と日曜日にやっております。

（意見）交通量は24年から25年、26年と少し減っているというのが報告されており、冬期の利用は増加するとなっています。当該路線をよく利用するが、実感と合ってまして、夏場は大体現道区間の方を通ってるんですが、冬場になると恐いですから、有料道路を通るといふ、普段の使い方がここによく表れてると思いました。

（質問）利用台数の計画値と実績値の推移があるが、グラフがあるのでちょっと数字が見えづらい。直近の26年度の利用台数は何台ですか

（回答）年間155万1,000台くらいで、1日あたり約4,200台です。

（質問）利用台数の計画値と料金収入の計画値について、この計画を立てられたのは、有料道路が建設時に立てられた当初の計画値だと思うが、途中でこの計画の台数・収入の見直しをされたことは過去になかったのか。

（回答）見直しはしておらず、当初からこのままです。

（質問）平成29年の返還が困難な状況であるというのは、大分前から分かっていたのではないのか。

当初計画では、計画通りに返済できない場合の対応は検討していなかったのか。

(回答) 平成 29 年度はひとつの節目で、料金徴収期間が終了となります。そこでもう一度、今後のあり方を議論していきたいということで、今検討を進めています。

(質問) 冬期は利用台数が増えているという数字ですが、大型車はどのような状況か。
観光の団体客は、ほとんどバスを利用するので状況を教えてください。

(回答) 手元にデータが無いため、整理し、次回に回答します。

(質問) 現状の収入で返済を続けていくとすると、完済までにはあとどれぐらいの期間を要するのか。

また、建設から 30 年を経過するわけですが、道路の維持管理費ということで、大規模修繕の必要があるとすればどの時期で、こういった修繕が必要なのかということをお教えください。

(回答) まず先に一つ目の質問の、完済までどれぐらいの期間を要するかについてですが、残債が約 27.7 億円であり、この中には、青森県の出資金や市中銀行からの借入などを整理し、分けて考える必要があります。

仮の話ですが、市中銀行の借入金ということだけを考えるのであれば、市中銀行からの借入金約 12.4 億円を、今後、年間で約 1.3 億円～1.4 億円を返済可能とすると、9、10 年要するという形になると思います。

ただし、その他に、出資金の捉え方など議論する必要があるかと思えます。

二つ目の大規模修繕についての話については、この道路には橋梁があります。ただし、その他は盛土と切土となっており、供用後 30 年程度であれば、今のところは大規模修繕の必要は無く、通常の維持管理で大丈夫かと考えております。

(質問) 現道区間の交通量が多くなることにより、王余魚沢地区は事故の発生・危険性が高くなるおそれがある、ということですが、過去の交通事故の発生件数をお教え頂けないか。

(回答) 手元にデータが無いため、整理し、次回に回答します。

(進行) 事務局に対して次の委員会に向けての提案がありますが、本日各委員から様々なご意見頂きまして、それに対して説明を加えまして、今後検討すべき方向につきまして委員会に示して頂きたいと思いますが、事務局いかがでしょうか。

(事務局、各委員異議なし)

【委員会決定事項】

- ・ 各委員からの様々な意見に対して、説明を加えたうえで、今後検討すべき方向について次回の委員会において事務局から示すこととする。

以上